



あなたに会うために、今までのすべてがあった

医師になって間もなく 32 年目を迎えます。思えばとても医学部入るような成績ではありませんでした。高校3年生になって受けていた模擬試験はことごとく合格の可能性 5%未滿、志望校変更が望ましいが続きました。それでも、どうしてもこの仕事がしくて、必死に勉強しました。人の何倍でも、何十倍でも勉強が必要であれば、勉強したいと願いました。それでも、成績は芳しくありませんでした。

何度も心が折れそうになった時、ふと心に響いた歌詞がありました。

♪♪いい日旅立ち♪♪

日本のどこかに 私を待っている人がいる…

何の資格もない、高校3年生でしたが、いつか日本のどこかで待っている誰かを信じて必死に勉強しました。そして必死に神様に祈りました。どうか私に、医師としての道を与えてください。もし、その道を与えて頂けるのであれば、私は、必ず苦しむ人のために人生を捧げます…。

そして、奇跡的に現役で慈恵医大に入学することになりました。今でも、自分の合格の番号をみて、奇跡が起きた（ラグビーで日本が南アフリカに勝ったような）感覚を今でも鮮明に覚えております。

その後、無事に留年することなく卒業し、医師国家試験も合格して無事に医師としてここまで第1線の現場で働くことができました。そして気がつくと、めぐみ在宅クリニックを開設して 12 年目を迎えます。スタッフ総勢 60 名を越え、年間在宅看取りが 300 人を越えるまでになりました。今年になって3ヶ月ですが 80 名を越える在宅看取りがありました。その中には若くして病気になり、両親や子どもを残して逝かれた方も少なくありません。

大きな苦しみを抱えた患者さんと家族と向き合う毎日が続きます。それでも、私は、この患者さんと家族に出会うために生まれてきて、医師になったのだと感じています。だから、今はとっても幸せです。

すべての出来事に、時と意味があることを感じています。

今日のはじめて出会う人も、きっとこの日に出会う運命であったと信じています。

あなたに会うために、今までのすべてがあった…と

小澤竹俊

追想の集いが開催されました

めぐみ在宅クリニックでは、定期的に大切な人を亡くされたご家族に声をかけて、追想の集いを開催してきました。3月31日（土）は、午前と午後に分けて18回目となる追想の集いを開催いたしました。ソプラノは麻野恵子先生、ヴァイオリンは西尾ヨシ子先生、そしてめぐみ在宅クリニックのグリーンサポートチームのメンバーである山本緑先生にはピアノを担当して頂きました。本当に素晴らしい演奏を有り難うございました。

音楽の力はとても偉大です。短い時間であったとしても、音楽を通して、いろいろな感情がわいてきます。それは決して CD 音源では得られない生演奏の持つ力だと感じました。そして、ご参加頂きましたご家族の皆様からは、多くのメッセージを頂きました。その1つ1つは、これから地域で活動をしていくめぐみ在宅クリニックのスタッフや、一緒に追想の集いに参加して頂いた地域の訪問看護ステーションや介護の皆さんの力になります。



診 療 実 績

	2006- 2016年	2017年 計	2018年 1月	2018年 2月	2018年 3月	2018年 計	総計
訪問回数	50,852	9,261	856	815	901	2,572	62,685
自宅永眠	1,769	216	28	26	14	68	2,053
施設永眠	218	63	4	5	6	15	296
在宅 (自宅+施設)	1,987	279	32	31	20	83	2,349
病院永眠	487	107	14	9	7	30	624